



society&business Tokyo25 journal
執筆協力 編集室システムU okamura.nobuyoshi@gmail.com



井上宣 青梅市議 (49) =元西多摩・青梅地区委員長、現副委員長。民主青年同盟都委員。2019年に市議初当選

断できるか」が評価の根本にある。同じく青梅市長選への対応はどうか。保守系が割れる可能性もある。

浜中市政 困難や課題解決の姿勢見えず 安全保障論議 右傾化は国民の理解得られぬ

井上 資本主義で経年の節目を迎える。だが、少子高齢化は大きな課題だ。青梅市の出生数を見ると、私が生まれた1973年は年間1805人だった。私の子どもは2006年生まれたが、この年は1080人だ。そして2020年は595人。今後はさらに減少幅が広がる。一方、高齢者は純増となつていく。子どもを育てやすい環境をつくらなければならぬのに市内には児童館が1つもない。高齢者向けの施策は充実させるどころか削減している。今後予測される社会状況に対応するための難しい判断が迫られているのだから、方向性がまったく分らないのが浜中市政だ。

井上 様々な組織、団体と同じように黨員の高齢化が進んでいるのが事実だ。若い人たちが今の政治や社会でおかしいと思つて、ことにしつかり寄り添っていかないと、若い世代がもっと政治に参加できる環境を私たちがつくるのが大切だと感じている。

井上 宣 青梅市議 (共産) に聞く

野党共闘は踏み出したばかり 根底に自民党政治の行き詰まり

日本共産党の西多摩・青梅地区委員会副委員長で、青梅市議の井上宣氏に野党共闘の評価と今後の行方、野党共闘が功を奏し誕生したあきる野市の村木市政の評価などを聞いた。(岡村信良)

昨年の都議選では3選挙連続で議席増。半世紀ぶりの歴史的快挙と言われた。一方、衆院選では野党共闘が後退した。選挙後、立憲民主から共闘の見直しが出た。

井上 先ほど東京では市民運動や都知事選をはじめ各首長選で共闘して戦い、経験が積まれてきたことが大きいと思つていて。共産党も他党と一緒に選挙を戦う経験と互いの違いなども理解でき、より有効な選挙戦術で共通認識が持たれている。1996年の衆院選の際、自民党は政権交代を目指す新進党のアーキレス腱として創価学会批判を展開した。多くの国民が持つアレルギーを刺激したもので、選挙では常套手段といつていい。井上さん自身、野党共闘の現場での感覚はどうか。

井上 あきる野市では2019年に野党共闘の村木市政が誕生し、市民の望む政策が進められつつあると思つている。羽村市の橋本市政も選挙で支援した市民団体の声を施策に反映してくれるはずだ。

井上 個人的には、市政において困難や課題をどう解決していくかが見えない。人口減少、少子高齢化は大きな課題だ。青梅市の出生数を見ると、私が生まれた1973年は年間1805人だった。私の子どもは2006年生まれたが、この年は1080人だ。そして2020年は595人。今後はさらに減少幅が広がる。一方、高齢者は純増となつていく。子どもを育てやすい環境をつくらなければならぬのに市内には児童館が1つもない。高齢者向けの施策は充実させるどころか削減している。今後予測される社会状況に対応するための難しい判断が迫られているのだから、方向性がまったく分らないのが浜中市政だ。

西多摩ではあきる野市長選、羽村市長選で一定の成果を見た。村木市政、橋本市政をどう見ているか。井上 個人的には、市政において困難や課題をどう解決していくかが見えない。人口減少、少子高齢化は大きな課題だ。青梅市の出生数を見ると、私が生まれた1973年は年間1805人だった。私の子どもは2006年生まれたが、この年は1080人だ。そして2020年は595人。今後はさらに減少幅が広がる。一方、高齢者は純増となつていく。子どもを育てやすい環境をつくらなければならぬのに市内には児童館が1つもない。高齢者向けの施策は充実させるどころか削減している。今後予測される社会状況に対応するための難しい判断が迫られているのだから、方向性がまったく分らないのが浜中市政だ。

井上 個人的には、市政において困難や課題をどう解決していくかが見えない。人口減少、少子高齢化は大きな課題だ。青梅市の出生数を見ると、私が生まれた1973年は年間1805人だった。私の子どもは2006年生まれたが、この年は1080人だ。そして2020年は595人。今後はさらに減少幅が広がる。一方、高齢者は純増となつていく。子どもを育てやすい環境をつくらなければならぬのに市内には児童館が1つもない。高齢者向けの施策は充実させるどころか削減している。今後予測される社会状況に対応するための難しい判断が迫られているのだから、方向性がまったく分らないのが浜中市政だ。

寺は文化の発信地 創ろう地域の文化を人から歴史から そうぜんじ便利—卯月 第65回土曜講座 (お茶代300円) 4月23日13時~16時